

広島県安全装置等導入促進助成金交付要綱

平成 18 年 5 月 11 日 制定

平成 29 年 3 月 23 日一部改正

公益社団法人 広島県トラック協会

(目 的)

第 1 条 公益社団法人広島県トラック協会（以下「協会」という。）は、事業用トラックの事故撲滅を目指し、安全装置等（以下「装置等」という。）の装着を行う会員事業者に対して装置等装着経費の一部を助成する。

(助成対象)

第 2 条 助成の対象は、次条に定める装置等を導入又は、広島県内に登録している営業用貨物自動車に取付ける会員事業者とする。

(対象装置)

第 3 条 助成の対象となる装置等は、次に掲げる装置とする。

対象装置は、別表（平成 29 年度 安全装置等導入促進助成事業対象装置一覧）とする。※ 指定品目で全ト協が追加したものは広ト協の品目とする。

なお、装置の装着にあたっては、道路運送車両の保安基準に抵触しないことを条件とする。

(1) 後方視野確認支援装置

(2) 側方視野確認支援装置

※ 装着対象車は中型自動車、大型自動車に限る。

(3) 呼気吹込み式アルコールインターロック装置

※ 国土交通省の技術指針に適合しているものとする。

(4) IT 機器を活用した遠隔地で行う点呼に使用する携帯型アルコール検知器

※ IT 機器を活用した遠隔地で行う点呼に使用する携帯型アルコール検知器は、別に定める基準を満たす通信機能を有し、または、携帯電話等通信機器と接続し、当該機器による測定結果を直ちに営業所に設置した点呼機器に送信できること。

前項に定める IT 機器を活用した遠隔地で行う点呼に使用する携帯型アルコール検知器は、安全性優良事業所（G マーク認定事業所）が導入する場合に限り、助成対象とする。

(実施期間)

第 4 条 平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 16 日までとする。

なお、助成は先着順とし、予算額に達した場合はその時点までとする。

(交付額)

第 5 条 助成金の交付額は、会員事業者が当該年度に新たに車両に装置等を装着又は、導入する場合、1 台につき対象装置ごとに定額 1 万円を交付する。

ただし、装置等装着費の実費額が助成額の 1 万円より低い場合は実費額とする。

また、第3条第1項第1号及び第2号のいずれにも該当する装置を購入した場合、2万円を交付する。

2 申請は1事業所当たり各対象装置100台を限度とする。

(助成金の交付申請)

第6条 助成を希望する会員事業者は、装置等装着導入が完了したときは、別紙様式「平成29年度 広島県安全装置等導入促進助成金交付申請書」(以下「申請書」という。)により、助成金を申請するものとし、所属する協会支部に提出する。

2 前項に定める申請書には、購入した品目及び型式、数量、金額及び取付する車両ナンバーを記載した納品書又は請求書の写、支払いを証明する領収証の写(金融機関振込金受取書等の写でも可)を添付すること。

3 手形(自振手形に限る)による購入の場合、手形決済完了後に当座から引き落とされた証明(当座勘定照合等)又は領収証等を添付して申請すること。

なお、申請期限を越えて決済される手形による購入形態は、助成金を交付しない。

4 リースまたは割賦導入の場合は、装着装置(品目及び型式、数量、金額及び取付する車両ナンバー)が記載されたリース契約書または割賦販売契約書の写を添付すること。

5 国から補助金が交付された機器に対しては、助成金は交付しない。
交付申請の際、国への申請を行わない旨の誓約書を添付すること。

6 IT機器を活用した遠隔地で行う点呼に使用する携帯型アルコール検知器の申請にあたっては、安全性優良事業所(Gマーク)認定証及び、機器導入台数分の車検証(写)を添付すること(事業用貨物自動車1台につき、1台を上限に助成対象とするため)。

7 所属する協会支部への提出期限は、平成30年3月16日(必着)とする。

(助成金の交付)

第7条 協会は、前条に基づき申請書の提出があったときは、速やかにその内容を審査し、条件に適合すると認めたときは、会員事業者に対して、助成金を交付する。

(助成金の返還)

第8条 協会は、次の各号のいずれかに該当するときは、交付した助成金の全部もしくは一部の返還を命じることができる。

(1) この要綱その他協会が定める事項に違反したとき

(2) 虚偽その他不正な手段により助成金の交付を受けたとき

2 前項の規定により返還を命じられた会員事業者については、協会が行う助成事業すべてに係る申請は、原則として、当分の間、これを受付又は交付決定を行わないものとする。

(財産の処分制限)

第9条 会員事業者は、交付対象となった装置等が装着の日から起算して、下記の期間を経過するまでの期間は、譲渡、交換、廃棄、他用途への転用、貸付又は担保に供してはならない。

但し、あらかじめ協会の承認を得た場合はこの限りではない。

(1) 後方視野確認支援装置 1年

- (2) 側方視野確認支援装置 1年
- (3) 呼気吹込み式アルコールインターロック装置 1年
- (4) IT機器を使用した遠隔地で行う点呼に使用する携帯型アルコール検知器 1年

(その他必要な事項)

第10条 この要綱に定めるもののほか、助成金の交付に関するその他の必要事項は、協会が別にこれを定める。

(附 則) 本要綱は、平成18年4月1日より施行する。

平成19年3月22日	一部改正	(平成19年4月1日施行)
平成20年3月19日	一部改正	(平成20年4月1日施行)
平成21年3月18日	一部改正	(平成21年4月1日施行)
平成22年3月26日	一部改正	(平成22年4月1日施行)
平成23年3月23日	一部改正	(平成23年4月1日施行)
平成24年3月22日	一部改正	(平成24年4月1日施行)
平成24年5月30日	一部改正	(平成24年4月1日施行)
平成25年3月21日	一部改正	(平成25年4月1日施行)
平成26年3月19日	一部改正	(平成26年4月1日施行)
平成27年3月20日	一部改正	(平成27年4月1日施行)
平成28年3月23日	一部改正	(平成28年4月1日施行)
平成29年3月23日	一部改正	(平成29年4月1日施行)